

安全データシート

作成日2017年11月13日
改訂日2023年 8月 1日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 水まわりリセットクレンザー
 製品コード
 会社名 株式会社サンワ
 住所 〒135-0046 東京都江東区牡丹2丁目12番地4号
 電話番号 03-3642-1255
 FAX番号 03-3642-5766
 メールアドレス
 推奨用途及び使用上の制限 水まわりの各種汚れ落とし（水垢、黒スジなど）

2. 危険有害性の要約

GHS分類
 物理化学的危険性 分類対象外、区分外または分類できない
 健康に対する有害性 急性毒性（経口） 分類できない
 急性毒性（経皮） 分類できない
 急性毒性（吸入：蒸気） 分類できない
 急性毒性（吸入：ミスト） 区分外
 皮膚腐食性／刺激性 分類できない
 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2A
 呼吸器感受性 分類できない
 皮膚感受性 分類できない
 生殖細胞変異原性 分類できない
 発ガン性 分類できない
 生殖毒性 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性（単回曝露） 区分3
 特定標的臓器・全身毒性（反復曝露） 分類できない
 環境に対する有害性 吸引性呼吸器有害性 分類できない
 水生環境有害性（急性） 分類できない
 水生環境有害性（慢性） 分類できない
 オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素
 絵表示又はシンボル



注意喚起語
 危険有害性情報

警告
 強い眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ
 すべての安全注意（SDS等）を読み理解するまで取り扱いしないこと。
 保護手袋、保護メガネを着用すること。
 飲み込まないこと。

注意書き【安全対策】

【救急処置】

取扱後は良く手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。
 容器を密閉し、取扱時にはこぼれないように注意すること。
 皮膚に付いた場合 附着した部分を水と石鹸で洗い流すこと。
 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
 眼に入った場合 直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、コンタクトレンズを容易に
 外せる場合には外して洗った後、眼の刺激が持続する場合は、医師
 の診断を受けること。

国・地域情報

情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
 一般名 研磨剤

化学名又は一般名	化学式	濃度 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
非結晶シリカ・アルミナ系研磨剤混合物	非公開	38	あり	非公開
クエン酸	C6H8O7	0.5-3	あり	77-92-9
非イオン系界面活性剤	非公開	1-3	あり	非公開
増粘剤	非公開	0.1-2	あり	非公開
分散剤	非公開	1-5	あり	非公開
香料（レモンライム）	非公開	0.1	あり	非公開
防カビ剤	非公開	0.02-0.10	あり	非公開
水	H2O	残量	対象外	7732-18-5

4. 応急措置

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

飲み込んだ場合

予想される急性
及び遅発性症状
最も重要な兆候及び症状

応急処置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

石けんを付けて水で洗うこと。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断手当を受けること。
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

データなし

臓器（呼吸器系）の障害、長期または反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害（シリカとして）
呼吸器への刺激のおそれ。長期または反復暴露による臓器（肺：吸入）の障害（アルミナとして）

飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある
眼に入ると炎症を起こす可能性がある
皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある
ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある

データなし
データなし

5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

粉末、二酸化炭素、泡、散水又は噴霧水。

特になし

製品自体は引火しないが、製品中の水分が蒸発すると燃焼する。
燃焼した場合、有害なガスが発生するおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器と化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置
環境に対する注意事項

回収、中和

封じ込め及び浄化の方法
・機材二次災害の防止策

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触を避ける。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。

乾燥土、砂や不燃材料で吸収する。あるいは覆って密閉できるポリ製空容器に回収する。
吸収や回収したものは、後で廃棄処理する。

漏れを止める。容器を回収する。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
局所排気装置・全体換気
安全取扱い注意事項

接触回避

保管

技術的対策
混触危険物
保管条件
容器包装材料

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。

容器は丁寧に取扱い、使用後は密栓する。

眼に入れないこと。

ミスト、スプレーの吸入しないこと。

取扱い後は水で洗うこと。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器は直射日光を避け、涼しく換気の良い場所で保管すること。

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度（ばく露限界
値、生物的ばく露指標）
設備対策
保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
衛生対策

設定されていない

設定されていない

この製品を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器を設備すること。

適切な保護手袋を着用することが望ましい。

適切な眼の保護具を着用することが望ましい。

全身用の保護衣を着用することが望ましい。

取扱い後はよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

形状	粉末を含むペースト状
色	灰白色
臭い	レモンライム
pH	3.5-5.0 (10%aq)
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	認められない
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度（空気＝1）	データなし
比重（密度）	1.2-1.3(g/cm ³) (15°C)
溶解性	懸濁液になる
オクタール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
臭いのしきい（閾）値	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝1）	データなし
燃焼性（固体、ガス）	該当しない
粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱い温度、圧力で安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	万一燃焼した場合、一酸化炭素等の有害なガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

皮膚腐食性	データなし
刺激性（皮膚、眼）	強い眼刺激及び皮膚刺激
感作性	データなし
急性毒性LD ₅₀ （ラット）	5000mg/kg（アルミナとして） 3000mg/kg（クエン酸として）
悪急性毒性	データなし
慢性毒性	データなし
がん原性	データなし
変異原性（微生物、染色体異常）	データなし
生殖毒性	データ不足
催奇形性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄は関連法規ならびに地方自治体の基準及び地域の条例、規則に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこへ委託処理する。
排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託処理する事。
空容器等を廃棄する場合は、水洗いなど内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う。
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
国連分類及び国連番号	分類基準に該当しない。
国内規制	
陸上規制情報	消防法、毒劇物法、労働安全衛生法に該当する場合は、該当規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
特別の安全対策	運搬に際しては輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にする。 『7. 取扱い及び保管上の注意』に従うこと。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行なう。

15. 適用法令

労働安全衛生法	該当（アルミナとして）
化学物質排出把握管理 促進法（P R T R法）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
火薬類取締法	該当しない
高圧ガス保安法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
その他の規制	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）	
内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）：含有しない	
学校環境衛生基準検査物質：含有しない	
シックハウス・シックスクール 関連室内空気汚染物質：厚生労働省指針値該当14物質成分は含有しない	

16. その他の情報

引用及び参考文献	JIS Z 7253 化学物質安全データシート
	JIS Z 7252 GHS分類標準規格
	製品安全データシートの作成指針（改訂2版（社）日本化学工業協会）
	化学物質の安全データシート（安全衛生情報センター発行）
	GHS混合物分類判定システム（GHS JIS版2010-1 経済産業省）
	原料メーカー発行の安全データシート

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づき作成しており、新規知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合は、用途や用法に適した安全性の評価と対策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報の提供であって、安全性を保証するものではありません。